



こんにちは。
山登り好きの「岳」です。

山好きな私が吉野川の分水嶺を歩きながら、読者の皆様に吉野川流域の山々の素晴らしさと現状を紹介したいと思います。

第3回は、吉野川の上流域の平家平から寒風山と銅山峰から東赤石山までを紹介します。

6月3日登山日和。高知県大川村高敷登山口から平家平、冠山、ちち山、笹ヶ峰、寒風山を縦走しました。

平家平に向かう途中の登山道に、120年に一度しか咲かないと言われている珍しいスズタケの花が咲いていました。この花は開花した後に一斉に枯れてしまいます。今年、石鎚山や東赤石山などでも見られました。

最初に登頂した平家平は、壇ノ浦の戦いで敗れた

平家一行が祖谷から横倉山へ落ちのびる途中に滞在したといわれることが山名の由来である四国百名山の山です。山頂は名前のとおり平らな形で一面ササ原が広がっています。

次に登頂した冠山山頂付近の展望場所では足が竦みながら断崖絶壁の岩に立って見る笹ヶ峰、ちち山の雄大な景色は圧巻でした。

その後、ちち山の麓のちち山分れから東側を見渡



平家平山頂



冠山から見た笹ヶ峰とちち山



ちち山分れから赤石山系と銅山川流域

すと東赤石・西赤石、その下には銅山川が流れ、西側は笹ヶ峰・寒風山、葛原川の流れが一望でき、ここからが吉野川の分水嶺となっています。

ちち山分れから分水嶺を辿りながら、ちち山、笹ヶ峰、寒風山を縦走しました。笹ヶ峰は、日本二百名山および四国百名山の一つに数えられ、なだらかな山頂部が特徴の山で、一面のイブキザサに覆われていることに由来しています。

笹ヶ峰・寒風山の登山口である寒風山トンネルまでは、高知市内より2時間弱、西条市内より1時間程度と比較的近いため、登山者が多い山です。帰りには、いの町桑瀬にある木の香温泉で汗を流して帰る登山者が多いです。私もその一人です。



ちち山から見た笹ヶ峰と寒風山



スズタケの花



フモトスミレ



アカモノ



コナスビ

7月1日～2日の2日間で銅山峰から東赤石山を縦走しました。2日間ともまずまずの登山日和。

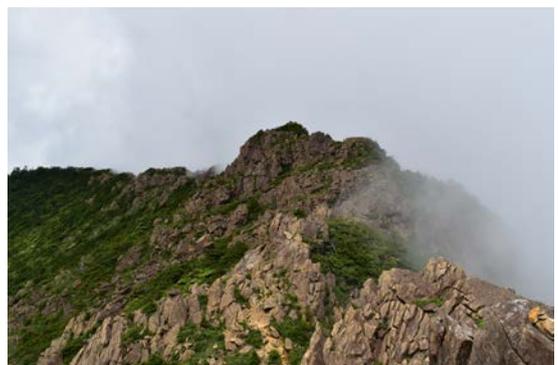
1日目は、八巻山から東赤石山付近を縦走しました。

八巻山は東赤石山の西側に連なる岩峰で、四国一の高山植物のメッカとして知る人のみが訪れる山です。この季節はタカネバラやユキワリソウ、イワキンバイなどの高山植物が綺麗に咲いていました。また、八巻山から東赤石は、四国では珍しく岩陵帯のある山で荒々しい岩峰で知られています。

東赤石山は、日本二百名山、花の百名山、および四国百名山の一つです。花の百名山に選ばれるだけあって、色々な高山植物が咲いています。また、赤茶けた岩石が山名の由来となっています。



赤石山荘から見た針葉樹林と八巻山



八巻山付近の岩陵帯



八巻山付近の大岩を見ると誰もがやりポーズ



八巻山から見た東赤石山



東赤石山東側の権現越の枯れたササ原



タカネバラ



カノコソウ



ユキワリソウ



イワキンバイ



ツクバネウツギ



ニガナ



イヨノミツバイワガサ



シコクギボウシの蕾

2日目はその西側の銅山峰付近から西赤石山・前赤石山を縦走しました。

銅山峰は、ツガザクラが群生することで知られています。銅山峰一帯は別子銅山で栄え、別子銅山の煙害や精錬用木炭需要により山の荒廃を招いたと言われています。現在は、110年ぐらい前から始まった植林により再生した様子を見ることができます。

銅山越は、別子銅山の粗銅と共に山内に住む数千人の食糧が運ばれた峠です。この峠には、峠で行き倒れた旅人達を供養した「峰の地藏さん」があります。



西山から見た銅山峰と西赤石山



銅山越の「峰の地藏さん」



ヤマツツジと銅山峰から見る西赤石山

西赤石山は、東赤石山の西側に位置する山で、5月下旬頃からアケボノツツジが斜面一面に花を咲かせます。今回は残念ながらお見せできませんでしたが、斜面一面に咲くアケボノツツジは、実に見事です。

西赤石山からは、物住頭・前赤石山を經由し、赤石山荘を經由して下山しました。赤石山荘付近では、森の貴婦人と言われているオオヤマレンゲも見ることができました。

途中、綺麗な高山植物が咲いており、気持ちの良い登山でした。

今回は、別子銅山跡の遺構を紹介できませんでしたが、別子銅山の遺構とツガザクラなどの高山植物を見る山登りはいかがでしょうか。



西赤石山から見た新居浜市



物住頭から見た西赤石山



オオヤマレンゲ



ヤマツツジ



フジイバラ

◇今回歩いた距離 46.5km

◇今回歩いた分水嶺の距離 19.9km. 今まで歩いた距離 44.1km / 全長約 402km

◇分水嶺制覇まで、残り 357.9km

